

国民民主

KOKUMIN MINSHU PRESS

国民民主党 国民民主プレス 編集部

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 JBS永田町
TEL: 03-3593-6229 MAIL: info@new-kokumin.jp
HP: new-kokumin.jp

連絡先: 国民民主党和歌山県総支部連合会
〒640-8214 和歌山市寄合町23 アセンブルビル5F
TEL: 073-427-2255 / FAX: 073-427-2277
HP: https://dp.wakayama.jp

つくろ、新しい答え。

Vol.27

令和7年2月28日

CONTENTS

第5回定期大会開催
2025年度活動方針
参議院選挙公認予定候補者
AI活用施策の紹介

つくろ、新しい答え。



5TH PARTY CONVENTION
第5回定期大会開催

国民民主党は、5月11日、東京都内で第5回定期大会を開催し、同日大会には、代議員として所属国会議員35名が会場に参集し、各公認候補の名が公認された。各都道府県選出代表者も参加し、また、会場には、参議院議員選挙、衆議院議員選挙の公認内定候補者も参集し、参議院議員選挙の公認内定候補者も参集した。大会は、参議院議員選挙の公認内定候補者も参集した。大会は、参議院議員選挙の公認内定候補者も参集した。...



連合 芳野友子 会長

結党の原点を再確認し、さらなる飛躍へ
今回の定期大会は、昨年10月に行われた第4回定期大会と異なり、参議院議員選挙の公認内定候補者も参集し、参議院議員選挙の公認内定候補者も参集した。大会は、参議院議員選挙の公認内定候補者も参集した。...



古川元久 代表代行

AI活用施策

「あなたの声を政策に！」党の政策決定プロセスにAI導入を決定！



国民民主党は政策決定プロセスにAIを活用することでより多くの国民の声を政策に反映できるよう準備を進めています。国民民主党ではこれまで代表質問や政策議論の際にGoogleフォームなどを使いながら政策議論を進めてきました。AIを活用することで、これまでにいただいた様々な声に加え、より多く、より多くの声を集め、分析していきます。...

- ご意見はこちらまで
 - ①こくみん電話(050-1722-5930)
 - ②ハッシュタグ(Xのみ対応) #国民民主党に伝えたい
 - ③Googleフォーム

詳しくはこちら



何食べた？ 今日のごはん Vol.8



岡野純子議員と小竹晴議員の今日のごはんは、サンドイッチ。国会開会中は、毎週水曜日の正午から所属議員が全員集まる「所属議員総会」が開催されます。党にかかわる重要事項を決定する会議ですが、ちょうど昼ごはんの時間に開催されることもあり、ちょっとした軽食が出ます。...



お二人に議員生活の感想を聞いたところ、岡野さんは「地方議員とやっていることは似ているけど、政策や国会質問が実を結ぶことが多いとコメント。小竹さんは「最年少ですが、当選回数が多いこともあり経験豊富で、まだまだこれから頑張ります」と力強く語りました。

手描き こくみんうさぎ プレゼント Vol.8



リレー企画「手書きでこくみんうさぎ」第8弾！国民民主党キャラクター「こくみんうさぎ」を、所属議員が一発描きする企画です。8人目は、秋田3区から村岡敏英議員、村岡が書いた色紙を、抽選で1名の方にプレゼントします。こちらのQRコードを読み込んでいただき、応募フォームにご入力の上ご応募ください。応募締め切りは3月31日(月)です。...



選挙結果 当選者一覧

地方議会議員選挙	候補者名	選挙名	公認推薦	現元新	投票日
	桜井 淳貴	茨木市議会議員選挙	公認	新	1月26日
	泉 日出夫	北九州市議会議員選挙	公認	現	1月26日
	宇野宮 亮	北九州市議会議員選挙	公認	現	1月26日
	大久保 無我	北九州市議会議員選挙	推薦	新	1月26日
	角田 修一	前橋市議会議員選挙	推薦	現	2月9日
	熊本 千尋	横浜市議会議員補欠選挙	公認	現	2月9日
	谷 健一	白山市議会議員選挙	公認	現	2月16日
	阿部 邦彦	大分市議会議員選挙	公認	新	2月16日
都府県選挙	候補者名	選挙名	公認推薦	現元新	投票日
	江崎 慎英	岐阜県知事選挙	推薦	新	1月26日

どうしたら目の前にいない人の声が聞けるだろう。声を出せない出さない人の本音を辿り行くことが出来るだろう。そんな大切な事柄から、AIを活用した政策作りを始めました。一部の方から「政策がAIに乗っ取られないか？」とのご懸念も頂きましたが、安心して下さい。AIは膨大な数の意見を収集・分析するのみで、意思決定は人間が行います。現在、議員・サポーターの皆さまにも政策のブラッシュアップにご参加いただき、身の仕組みを構築中です。国民民主党は「つくろ、新しい答え」から「みんなで作る、新しい答え」に進化します。



編集後記



2025年度 活動方針 「手取りを増やす。」

2024年、人手では5%を超える高水準の手取りが実現し、長期低迷してきた日本にも明るい兆しが見え始めてきました。一方で、給料が上がらなければ手取りが増えないという声を多くの方から聞いたまま、賃上げしても手取りが増えなければ消費は拡大しませんが、手取りを増やして消費を拡大し、売上げを伸ばし、さらなる賃上げへとつなげていく経済の好循環を築かなければなりません。

そこで国民民主党は、2024年10月27日実施の第50回衆議院議員総選挙において「手取りを増やす。」を期間に限り選挙戦を戦い抜くまで、その結果多くを民意を得て小選挙区で11名、比例区では617万票を獲得して、計28名が議席を4増やすことができました。

2025年4月手取りを増やすことが最重要の政治課題の「100万円」の壁の引き上げが、国民民主党の最重要課題です。国民民主党は、引き続き「100万円」の壁の引き上げが、国民民主党の最重要課題です。国民民主党は、引き続き「100万円」の壁の引き上げが、国民民主党の最重要課題です。

選挙対策

国民民主党を結成し当初からの理念、国民のための政策を一人でも多くの人に伝えること、一人ひとりの声を受け止めて新しい答えを探し出すこと、この期間に限り選挙戦を戦い抜くまで、その結果多くを民意を得て小選挙区で11名、比例区では617万票を獲得して、計28名が議席を4増やすことができました。

2025年4月手取りを増やすことが最重要の政治課題の「100万円」の壁の引き上げが、国民民主党の最重要課題です。国民民主党は、引き続き「100万円」の壁の引き上げが、国民民主党の最重要課題です。

各界交流

党役員による全国キャラバンなどの遊説・タウンミーティング等を通じて、国民の目標や課題と直接対話を行うことによる目標意識を醸成し、最大の支援団体である連合並びに各分野の業界団体との連携を強化してまいります。また、各分野の業界団体との連携を強化してまいります。また、各分野の業界団体との連携を強化してまいります。

政策活動/国会活動

今後も国民のための政策実現に向け、国会対応や法案提出などにあたり、政策本部で協力を進め、野党を問わず連携し「対決」より「解決」の姿勢を堅持してまいります。

昨年の衆議院議員選挙の結果を受けて、法案提出ができたことを受け、昨年の臨時国会では「100万円」の壁を引き上げ、所得増進法を提出し、本日の議員立法を衆議院に提出した後も、議員立法を積極的に提出してまいります。

国民運動

来る参議院議員選挙を始めとする各級選挙での勝利に向けて、引き続き街頭宣伝活動などに取り組むとともに、地域での活動が口々に進捗するよう支援を行います。具体的には「全国キャラバン」の実施など、各地の派生活動を積極的に進め、国民運動を全国各地で展開してまいります。

また、所屬議員の専門性を打ち出しながら、地方自治体議員と連携し、現職士を徹底的に支援し、引継ぎ支援を徹底してまいります。

青年局

全国に広がった青年局ネットワークの力を引き出すために、青年局の役員体制を強化し、全国の都道府県連の青年局長等との連携を深めます。昨年公認化した学生部については、引き続き力ハナスを確保しつつ、より相乗効果を発揮しやすいうり取りに向けて連携を図ります。

また、学生部向けのイベント「シンポジウム」については、春期と夏期の計2回実施します。

広報活動

本年行われる各級選挙と合わせて、この参議院選挙に向けた広報活動を強化し、国民に広く党の政策や取り組みを伝える体制づくりを目指します。具体的には、党の政策や取り組みを伝える体制づくりを目指します。

財務活動

党の財政状況は依然として非常に厳しく、政党交付金制度の財政構造の抜本的な見直しを図る取り組みや、引き続き必要と認められる特別党員や有志の募金活動、クラウドファンディングの推進などにより、党の財政状況の改善を図ります。

組織活動

国民民主党の独自の取り組みにより、支持者支援の裾野が拡大しています。国民民主党は、議員だけでなく、より多くの国民の目標や課題を背負って政策を実現していく政策として、組織拡大をめざし、党の基盤である特別党員、党員、サポーターの獲得に力を入れています。

また、昨年の衆議院議員選挙で特別党員の増加は顕著であり、これを向かい合わせで開催した特別党員向けイベントについて、地方での開催を検討しています。

選挙対策

国民民主党を結成し当初からの理念、国民のための政策を一人でも多くの人に伝えること、一人ひとりの声を受け止めて新しい答えを探し出すこと、この期間に限り選挙戦を戦い抜くまで、その結果多くを民意を得て小選挙区で11名、比例区では617万票を獲得して、計28名が議席を4増やすことができました。

青年局

全国に広がった青年局ネットワークの力を引き出すために、青年局の役員体制を強化し、全国の都道府県連の青年局長等との連携を深めます。昨年公認化した学生部については、引き続き力ハナスを確保しつつ、より相乗効果を発揮しやすいうり取りに向けて連携を図ります。

広報活動

本年行われる各級選挙と合わせて、この参議院選挙に向けた広報活動を強化し、国民に広く党の政策や取り組みを伝える体制づくりを目指します。具体的には、党の政策や取り組みを伝える体制づくりを目指します。

財務活動

党の財政状況は依然として非常に厳しく、政党交付金制度の財政構造の抜本的な見直しを図る取り組みや、引き続き必要と認められる特別党員や有志の募金活動、クラウドファンディングの推進などにより、党の財政状況の改善を図ります。

財務活動

党の財政状況は依然として非常に厳しく、政党交付金制度の財政構造の抜本的な見直しを図る取り組みや、引き続き必要と認められる特別党員や有志の募金活動、クラウドファンディングの推進などにより、党の財政状況の改善を図ります。



公認予定・比例代表

選挙区	候補者名	現元新
比例代表	磯崎 晋史	現
比例代表	田村 まゆ	現
比例代表	浜野 嵩史	現
比例代表	平戸 航太	新

推薦予定・選挙区

選挙区	候補者名	現元新
山形県	芳賀 通也	現

男女共同参画・多様性推進

男女共同参画社会と多様性社会の実現に向けて取り組んでいます。具体的には、男女共同参画社会と多様性社会の実現に向けて取り組んでいます。

引退議員表彰

2020年9月の結党時より本年度まで国民民主党の一員として党勢拡大に尽力いただいた引退議員の方々の表彰を行いました。

受賞者

- 水岡康司 前伊豆市議会議員
- 早川浩徳 前高島市議会議員
- 河口靖子 前木津川市議会議員
- 芦田真弘 前福知山市議会議員
- 美藤和広 前三田市議会議員



長友慎治 実行委員長
丹野みどり 衆議院議員
白木秀剛 衆議院議員
許登亮太郎 衆議院議員